

令和 8 年芽室町議会定例会 9 月定例会 一般質問

令和 8 年 9 月 1 6 日再開

質問議員 氏 名	質 問 項 目	質 問 の 内 容 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
木 村 淳 彦 (60 分間)	1 町長が掲げた公約の実現について	手島町長におかれましては、これまでの 2 期 8 年間に於いて、子育て支援や教育環境の充実、農業振興、まちなか再生など、様々な施策に取り組んでこられました。 一方、本町を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化の進行、人手不足、物価高騰、公共施設の老朽化、社会保障費の増加など、大きく変化しています。 そのような中、手島町長の 3 期目の任期が始まりましたが、去る 7 月 22 日の臨時会議の挨拶でもありましたが、これまで準備してきた事業や種をまいてきたものを、生活の安心と将来の希望を持てる町にする決意を持っているとのことであります。 地方自治体には、限られた財源と人材の中で、将来世代に責任ある財政運営を行いながら、住民サービスを維持・向上させることが求められています。これまで取り組んできた 8 年間の種まきから、花咲く実のある 4 年間を目指す決意お聞きし、期待しているところであります。 そこで、今回は無投票ではありましたが、町長が掲げた公約をどのように実現し、芽室町の将来につなげていくのか、その基本的な考えについて次の 5 点について、町長の見解を伺います。 (1) 3 期目において、最も優先して取り組む政策は何か、その理由と合わせて、見解を伺います。 (2) 町長が公約で掲げた各施策について、第 6 期芽室町総合計画と整合性を持ちながら進められると考えますが、その中でも厳しい財政状況の中での責任ある財政運営と、従前より町長が示す町民への説明責任・対話重視の観点から、各施策の 4 年間の工程表と数値目標（KPI）を策定し、町民や議会へ示すべきと考えますが、見解を伺います。 (3) 人口減少による税収の伸び悩みや公共施設の更新などが重なる中、事業を進める上で、新規事業と既存事業の見直し、またはスクラップ＆ビルドについて、どのような考え方で進めるのか、見解を伺います。 (4) まちなか再生については、これまで進めてきた各事業と芽室公園Park-PFI事業との連携を踏まえ、今後 4 年間でどのような成果を目指すのか伺います。また、民間投資や交流人口の拡大をどのように地域経済につなげ、さらに町民の福祉向上にどうつなげて行くのか、見解を伺います。 (5) 地域コミュニティの維持・活性化について、地域担当職員制度や町内会などの地域活動支援をどのように発展させ、人口減少時代における持続可能な地域づくりを進めるのか、見解を伺います。	町 長

質問議員 氏 名	質 問 項 目	質 問 の 内 容 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
正村紀美子 (60 分間)	1 第 6 期芽室町総合計画に位置付ける地域コミュニティのあり方について	町は、第 5 期芽室町総合計画に基づき、町内会等の主体的な取組への支援、地域集会施設の再整備、地域担当職員制度などを通じて、住民自治の実現と地域の活力維持に取り組んできました。 しかし、町内会加入率の低下や地域活動の担い手不足が進み、住民ニーズも多様化する中、従来の町内会や行政区を中心とした仕組みだけでは、多様化・複雑化する地域課題に対応し、住民自治と地域の活力を将来にわたって維持することが難しくなっています。 一方、地域には、町内会や行政区のほか、住民団体、NPO、事業者、福祉 関係者など、多様な主体が存在しています。 こうした変化を踏まえ、今後 8 年間の町政運営を方向付ける最上位計画となる第 6 期芽室町総合計画では、町内会を地域コミュニティの重要な担い手の一つとして位置付けながら、多様な主体が参画する地域コミュニティの将来像を示すとともに、地域集会施設、地域福祉、防災、町民活動支援などの関連施策を貫く基本的な考え方と、その実現に向けた町の役割を明確にする必要があると考えます。そこで、次の 4 点について町長の見解を伺います。 (1) 町は、これからの地域コミュニティをどのように捉え、何を期待しているのか。また、町内会を含む多様な主体が参画する地域コミュニティの将来像を、第 6 期芽室町総合計画においてどのように位置付けようとしているのか伺います。 (2) 町内会加入の有無にかかわらず、多様な住民の声や地域課題を幅広く把握し、政策及び予算の検討につなげ、その結果を地域へ還元する仕組みをどのように構築しようとしているのか。また、その中で、地域担当職員制度や町民活動支援センター等の機能をどのように活用し、連動させようとしているのか伺います。 (3) 「地域コミュニティの新しいあり方」を考えるためには、その内容によって、町が直接担うのか、地域と協働して担うのか、地域の自主的活動を支援するのかなど、「町の役割」を明確に整理する必要があります。町と地域の役割分担をどのような考えにもとづいて整理しようとしているのか伺います。 (4) 第 5 期芽室町総合計画に基づき実施してきた地域コミュニティに関する一連の事業について、住民自治の実現と地域の活力維持の観点から、その成果と課題をどのように分析しているのか伺います。また、その結果を踏まえ、第 6 期芽室町総合計画には、どのように反映しようとしているのか伺います。	町 長

質問議員 氏 名	質 問 項 目	質 問 の 内 容 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
立川 美穂 (90 分間)	1 発達に関する特性等により社会生活に困難を抱える若者への支援体制について	本町は、芽室町発達支援システムにより、乳幼児期から就労まで一貫した支援に取り組んでいます。一方、幼少期に療育等の支援を受けた後、障害福祉サービスを利用せずに進学や企業等に就職した人が、生活環境の変化によって新たな困難に直面することがあります。必要な支援につながらないまま、学ぶことや働くことに困難を抱え、その人を持つ能力や可能性を十分に発揮できないことは、本人の尊厳や生活の安定に関わるだけでなく、地域社会にとって人材や活力が失われる社会的・経済的な損失につながります。本人や家族が必要なときに再び相談できることに加え、雇用する側にも適切な関わり方や職場環境について相談できることが重要と考え、次の2点について町長の見解を伺います。 (1) 幼少期に療育等の支援を受け、その後、障害福祉サービスを利用せず進学や就職に進んだ人が、支援を離れた後も必要なときに再び相談できるよう、支援終了時や町立学校を卒業する際に、将来の相談先を伝えるなど、切れ目のない相談支援体制を周知することが必要と考えますが、町長の見解を伺います。 (2) 既存の障害福祉サービス等につながないものの、発達特性等により職場で困難を抱える人について、本人だけでなく、雇用する町内企業も、本人との関わり方や業務内容、職場環境の調整等について相談できる体制を整備し、周知する必要があると考えますが、町長の見解を伺います。	町 長
	2 改正地域交通法を踏まえた持続可能な移動環境の構築について	地域公共交通は、通院、通学、買い物、就労、社会参加など、町民の生活を支える重要な基盤です。本町は、芽室町地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスの運行、農村部の高齢者に対するタクシー運賃助成、スクールバスの混乗などに取り組むとともに、MaaS等の新たな移動サービスに関する実証も行ってきました。 しかし、交通サービスがあっても、地域や時間帯、利用条件等によって、必要な移動手段を確保できない場合があります。 本年6月に公布された改正地域公共交通活性化再生法では、地域の輸送資源を最大限活用し、「交通空白」の解消と持続可能な地域公共交通の実現を図る方向が示されています。また、国は、教育、医療、福祉、商業等の分野と連携して地域公共交通を再構築する「地域公共交通のリ・デザイン」を推進しています。これらを踏まえ、次の2点について町長の見解を伺います。 (1) 高齢者に限らず、子ども、障がいのある人、運転免許を持たない人など、現在の制度では把握されにくい移動需要や、日常的に送迎を担う家族の実態と負担を把握し、全世代に関わる交通課題として取り組む必要があると考えますが、町長の見解を伺います。 (2) 交通、医療、福祉、教育、子育て、商業等の分野における移動需要と、地域にある輸送資源を庁内横断的に把握・検討するとともに、これまでのMaaSやライドシェア等の実証の成果と課題を検証し、持続可能な仕組みにつなげる必要があると考えます。運営主体、財源、担い手、補助終了後の継続性を含め、芽室町地域公共交通計画の見直しも視野に、今後の移動環境をどのように再構築しようとしているのか、町長の見解を伺います。	町 長

令和 8 年芽室町議会定例会 9 月定例会議一般質問

令和 8 年 9 月 1 7 日再開

質問議員 氏 名	質 問 項 目	質 問 の 内 容 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
渡辺洋一郎 (60 分間)	1 平成 28 年台風災害から 10 年、これからの防災・減災対策について	平成 28 年の台風 10 号災害から 10 年がたちました。本町においても、河川の氾濫や道路・農地等への被害等、町民の生命や暮らしに大きな影響を及ぼす災害を経験しました。一方、近年は、地震や局地的な集中豪雨、線状降水帯による大雨、気候変動に伴う災害の激甚化・頻発化など、これまでの想定を超える災害が発生しており、いつ、どこで、どのような災害が発生するかを予測することは難しくなっています。 「第 5 期芽室町総合計画（以下「第 5 期総合計画」という。）」では、「自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり」を基本目標に掲げて各施策に取り組んでいますが、災害から町民の生命と暮らしを守るためには、行政による備えに加え、避難行動要支援者への支援体制や地域との連携など、災害時に実際に機能する仕組みを平時から構築しておくことが重要であると考えことから、次の 3 点について、町長の見解を伺います。 （1）平成 28 年台風災害から得られた教訓と、その後の防災対策への反映について、これまでの取り組みの経過と成果、課題分析について、町長の見解を伺います。 （2）避難行動要支援者への支援体制について、現状の体制と課題、今後の展望について伺います。 （3）本町の防災・減災対策を今後どのように進め、地域防災力を高めていくのか、町長の考えを伺います。	町 長
伊 藤 稔 (30 分間)	1 廃棄物の抑制と適正な処理について	第 5 期芽室町総合計画後期実施計画の施策「廃棄物の抑制と適正な処理」では、ごみの減量化や資源リサイクルの推進を掲げています。しかし、町が設置しているごみステーションについては、町内会未加入者が利用できないという間違った情報が一部に伝わり、ごみステーションの維持管理に支障をきたしているとの話も聞きます。また、芽室町のごみの分別については、分別の種類が多く、高齢者などは分別が大きな負担になっているとの話もあります。そこで、次の 3 点について伺います。 （1）本町のごみステーションは町が設置し、市街地については町内会が管理していると認識していますが、本年 3 月のホットボイスでもあったとおり、町内会未加入者はゴミステーションを利用できないと思っている町民もいます。このことに対する町の見解と、今後の対策について伺います。 （2）ごみの分別については、町外から転入された方や高齢者などから分別が面倒などの声を聴いています。他の自治体で事例があるように、燃えるごみとプラスチック類を一緒に収集している自治体もあることから、本町においても、町民の分別の負担の軽減を検討すべきと考えますが、町長の見解を伺います。 （3）可燃・不燃ごみ及び資源ごみの削減について、町はどのような取り組みを行ってきたか。その成果と今後の取り組みについて、町長の見解を伺います。	町 長

質問議員 氏 名	質 問 項 目	質 問 の 内 容 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
堀 切 忠 (60 分間)	1 小中学校配置計画について	令和9年度からの芽室町立小中学校配置計画（案）が示され、地域協議が進められています。配置計画では、芽室南小学校と上美生小学校、上美生中学校を令和9年度末に閉校し、令和10年4月1日に、それぞれ芽室小学校と芽室中学校に統合するとしています。 上美生地域における協議では、上美生地区協議会を代表とする6団体からの要望書や、ホットボイス、まちづくり意見募集（パブリックコメント）で多くの意見が寄せられています。 少子化が進む中、子どもたちの教育環境をどのように保障していくかは重要な課題です。一方、学校は子どもの学びの場であるとともに、地域コミュニティを支える重要な役割を担っています。 上美生小・中学校の今後を含む学校配置については、小規模校の教育的価値や地域への影響、子どもや住民の声を十分に踏まえ、町全体で将来像を議論する必要があると考え、以下、町及び教育委員会の見解を伺います。 （1）少人数によるきめ細かな教育や地域と密接にかかわる学びなど、小規模校ならではの良さをどのように評価・検証してきたのか。また、山村留学や特認校制度など、統合以外の学校存続の可能性を十分検討してきたのか、伺います。 （2）芽室町子どもの権利に関する条例では、「子どもの最善の利益の確保」や「子どもの意見の尊重」を基本的な考え方とし、「参加する権利」を保障しています。学校の統合は、子どもたちの学習環境、友人関係、通学、放課後の生活などに直接かかわる、子ども自身にとって極めて重要な問題です。今回の学校配置計画について、当事者である子ども自身の意見を直接聞く機会が十分に設けられていないとすれば、子どもの権利条例が掲げる「子どもの意見の尊重」や「参加する権利」との関係をどのように考えているのか伺います。 （3）将来的な方向性も含め、10年後、20年後の学校配置と教育の将来像を町民に示し、個別の学校の統廃合としてではなく、町全体の課題として、子ども、保護者、町民と議論していく必要があると考えますが、見解を伺います。 （4）学校は子どもたちの教育の場であると同時に、地域行事や世代間交流、子育て世帯の定住など、地域コミュニティを支える重要な役割を担っています。上美生から学校がなくなった場合、地域活動や人口、移住・定住、地域の将来にどのような影響があると考えていますか。また、その影響に対してどのような対策を考えているのか伺います。	教育委員会 町 長